

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	豊川保育園(1歳児クラス 15名)
年間テーマ	色で遊ぼう!～様々な素材に興味をもち、好奇心を育てる～
活動日	6月

### <テーマの設定理由>

毎日のように散歩へ行く飛鳥高校の校庭にあじさいがきれいに咲いている。その様子を毎回よく見ていた子どもたち。大人も意識して、「水色きれいだね」などと色を伝え、その後に、実際に見たあじさいの色を絵の具で表現することにした。



### <活動のために準備した素材・道具・環境設定>

あじさい型の画用紙・クレヨン(6色)・絵具(青、紫、ピンク)・手のひらサイズのペットボトル・緩衝材

### <活動の内容>

あじさいの小さい額を表現できるように、ペットボトルの蓋に緩衝材をつけ、押して色づける。

5月に絵の具で遊んだ際は、初めてのことに慎重で、汚れることが嫌であまりやらなかった子が様子が自らやり始め、最終的には指で感触を楽しみ、あじさいに色づけする様子が見られた。「ピンクのあじさい、公園にきれいに咲いていたね」と伝えながら行くと、普段言葉が少ない子も「ねえ」と発したり、「ぼんぼん」と押しつけながら自らも言って遊んでいた。ピンクが好きな子は「ピンクがいい」と、選んでいたが、「飛鳥高校にあった水色のあじさいもあるよ」と伝えると、ピンクをやり終えてから、やり始める。

### <振り返りによって得た大人の気づき>

実際に見たあじさいとどこまでつながっているかは分からないが、みんなは押すことを楽しんでいた。子どもたちの手のひらサイズのペットボトルがちょうど良い大きさと軽さで、子どもたちも押しやすそうだった。少し遊ぶと、そのペットボトルに興味があり、解体してみようとする姿があったが、今回数人ずつ行い、一人にひとつずつ用意していなかったため、次の子も使えるように、ある程度で止めてしまった。解体してからもこすりつけたりできるので、もっと多く用意して、できればよかった。嫌がっていた子が関心をもってやり始める姿に、何度も触れる機会を作ることが必要だと感じる。